

BNP パリバ・グループ

2007年度第1四半期決算報告書

力強い利益成長モメンタム
BNL 統合のシナジー効果をフルに反映した初めての四半期決算

▪ 営業収益	82 億ユーロ (前年同期比 20.5%増)
▪ 営業費用および減価償却費	46 億ユーロ (同 18.7%増)
▪ 営業総利益	36 億ユーロ (同 22.7%増)
▪ 純利益 (グループ帰属)	25 億 700 万ユーロ (同 24.5%増)

コア事業全てが引き続き高い有機的成長を実現 (比較可能ベース)*

▪ 営業収益	前年同期比 7.1%増
▪ 営業費用および減価償却費	同 5.8%増
▪ 営業総利益	同 8.9%増

*連結対象および為替変動の影響を除いた、比較可能ベース

2007年5月4日、ミッシェル・ペブロー会長を議長とするBNPパリバ取締役会は、2007年度第1四半期決算を承認しました。

大幅増益を実現

2007年度第1四半期の営業収益は82億1300万ユーロ（前年同期比20.5%増）となり、引き続き大幅増益を実現しました。BNLの統合によるシナジー効果を初めてフルに享受することができたこと、各コア事業の有機的成長が続いたこと（比較可能ベースでは前年同期比7.1%増）、高水準のキャピタルゲインが、こうした高成長に寄与しました。

営業費用および減価償却費は、こうした前向きなモメンタムを反映して増加トレンドを示していますが、前年同期比18.7%増（比較可能ベースでは同5.8%増）の45億8600万ユーロと、引き続き抑制された水準に留まっています。これにより、比較可能ベースで1.8ポイント、コア事業には同1.3ポイントのシナジー効果を享受することが出来ました。

営業総利益は前年同期比22.7%増の36億2700万ユーロ（比較可能ベースでは同8.9%増）となりました。

引当金は前年同期から1億4400万ユーロ増加し、2億6000万ユーロとなりました。このうち、1億900万ユーロは、主にBNLに関連する規模の拡大に起因するものです。

純利益（グループ帰属）は、前年同期比24.5%増の25億700万ユーロとなりました。



全てのコア事業が力強い成長

1. リテール・バンキング事業

フランス国内のリテール・バンキング（FRB）事業

フランス国内のリテール・バンキング拠点網による当四半期の営業収益は、前年同期比4.1%増の14億9900万ユーロとなりました（ホームオーナーシップ・セイビングス・プラン・アカウント引当金の繰り戻しは除く）。手数料収入は、貯蓄型金融商品が引き続き好調で（既に高い伸びを実現した2006年度第1四半期からさらに11.2%増）、前年同期比9.2%増となりました。ホームオーナーシップ・セイビングス・プランアカウントの影響を除くと、販促策が大きく奏功したため、規制金利の上昇とイールドカーブのフラット化という不利な影響にもかかわらず、純利息収益は概ね横ばいを維持しました。

営業費用および減価償却費を前年同期比2.9%増に抑制したこと、またリスク費用が引き続き低水準に留まったことから、ホームオーナーシップ・セイビングス・プラン・アカウントの影響を除く営業利益は、前年同期比6.6%増となりました。

フランス国内のプライベート・バンキングの収益の3分の1をAMS事業に振り分けた後では、当事業の税引前利益は同5.8%増（ホームオーナーシップ・セイビングス・プラン・アカウントの影響を除く）の4億7300万ユーロとなりました。

ホームオーナーシップ・セイビングス・プラン・アカウントの引当金繰り戻しの影響は、2006年第

¹ フランス国内のプライベート・バンキング事業を100%含む。

1 四半期は 6400 万ユーロの収益貢献であったのに対し、当四半期は 2700 万ユーロの収益貢献でした（融資残高の減少による 1000 万ユーロと、市場金利の変動に起因する 1700 万ユーロ）。

こうした好調な業績は、BNP パリバ・グループの国内リテール・バンキング事業の力強い販売促進モメンタムを反映したもので、4%の利益成長という 2007 年の目標と整合しています（ホームオーナーシップ・セイビングス・プラン・アカウントの引当金の影響を除く）。

フランス国内の個人顧客に関しては、若年層に対する新規のオファーが好調となり、要求払い・当座預金口座数はネットで 8 万口座増えました。消費者ローン実行残高は前年同期比 11.1%増となりました。生命保険の新規流入資金は、マーケット全体が減少傾向にある中で、2006 年度第 1 四半期に記録した高水準とほぼ同水準でした。

法人向け与信残高は、特にインベストメント・ローンが好調で、前年同期比 7.8%増となりました。法人顧客に対して高付加価値商品やサービスのクロスセリングにより、当業務は急速に基盤を築いております。

BNL バンカ・コメルシアレ (BNL bc)

イタリアのリテール・ネットワーク³の収益は前年同期比 7.8%増の 6 億 3800 万ユーロとなりました（プロフォルマ・ベース）。これに対して、営業費用は同 1%増の 4 億 1200 万ユーロに留まりました。

リスク費用は前年同期比 3.6%減少しました。そしてイタリアにおけるプライベート・バンキング収益の 3 分の 1 を AMS 事業に振り分けると、BNL bc の税引前利益は 1 億 4300 万ユーロとなりました。プロフォルマ・ベースでは、前年同期比 49.0%増の著しい増益となります。

新たな当座預金口座 (Conto Revolution) の積極的な販売促進キャンペーンおよび、AMS 事業とのクロスセリングによる収益性の高い生命保険商品の販売により、個人顧客向けの販促策をさらに強化しました。当四半期の BNL bc の新規口座開設数は純増に転じました(2006 年度第 1 四半期の 24,000 口座の減少に対して、当四半期は 2000 口座の増加)。融資残高は過去 1 年を通じて 7.7%増、預金残高は 5.4%増となりました。また、新規のネットワーク販売促進ストラクチャーの展開は予定通りに進んでいます。

法人顧客向けの新規ストラクチャーは 2007 年 7 月までには完全に開発が完了する予定です。同業務は、高付加価値商品 (ストラクチャード・ローン、インターナショナル・トレード・ファイナンスなど) や、特にプライベート・バンキング事業とのクロスセリングへのシフトを進めている段階です。与信残高は前年同期比 0.7%増とほぼ横ばいでしたが、預金残高は同 4.5%増となりました。

BNL の全ての事業に、シナジー効果が急速に増大しています。2006 年度後半には 3800 万ユーロのシナジー効果が得られましたが、2007 年度第 1 四半期に更に 2700 万ユーロのシナジー効果が生じました (BNL bc に 1800 万ユーロ、FRB・AMS・IRFS のコア事業に 900 万ユーロ)。

また、これまで既に記録している 6500 万ユーロのシナジー効果に加えて、既に達成したシナジー効果が今後 2~3 四半期中に更に 1 億 1600 万ユーロ程度実現するものと予想しております。したがって、2009 年度末までに予想しているシナジー効果 4 億 8000 万ユーロの 38%に相当する 1 億 8100 万ユーロのシナジー効果が、2007 年 3 月 31 日現在で実現したことになります。

こうした好決算は、BNL を BNP パリバ・グループの一部として統合化し、そのシナジー効果をフルに享受できた初めての四半期決算です。

² 差引純増数。

³ イタリア国内のプライベート・バンキング事業を 100%含む。

海外リテール・バンキングおよび金融サービス (IRFS) 事業

同事業の営業収益は、前年同期比 8.7% 増の 19 億 1900 万ユーロとなりました。営業費用および減価償却費は同 10.2% 増の 10 億 9800 万ユーロでした。これは、ウクルシブバンクとロカフィットの統合と、ドル安がバンクウェストのユーロ換算後の業績に与えた影響を反映したものです。比較可能ベースでは、持続的かつ有機的な収益の伸びは営業費用の伸びとほぼ整合的です (営業収益 8.5%、営業費用および減価償却費 8.7%)。営業総利益は前年同期比 6.6% 増の 8 億 2100 万ユーロ (比較可能ベースでは同 8.2% 増) となりました。

リスク費用は同 32.0% 増の 2 億 200 万ユーロでした。比較可能ベースでは、極めて低水準であった 2006 年度第 1 四半期と比較すると 22.1% 増加しました。

税引前利益は 6 億 3900 万ユーロとなりました。これは、3700 万ユーロの営業外利益を計上した 2006 年度第 1 四半期を 5.3% 下回る水準でした。比較可能ベースの税引前利益は同 4.0% 増となりました。

セテレム (フランスの消費者金融子会社) の力強い販売促進モメンタムは続いております。当四半期の営業収益は前年同期比 11.7% 増となり、特に同社が管理するローン実行残はフランス国内で同 17.6% 増、海外で同 24.7% 増となった結果、全体では同 20.5% 増を記録しました。こうした高成長は、営業費用および減価償却費の同 11.3% 増を伴いましたが、それでも最終的にはプラスのジョーズ効果を楽しむことが出来ました。リスク加重資産のリスク費用は 197 ベーシスポイントと、ほとんど変化がありませんでした。営業利益は同 9.7% 増の 1 億 7000 万ユーロとなりました。

エクイップメント・ソリューションズ と **UCB** は、当四半期も欧州において急速な拡大を続けました。2 社の実行残高合計は 600 億ユーロを超えており、営業収益は前年同期比 14.1% 増の 3 億 8900 万ユーロ、営業利益は同 17.6% 増の 1 億 4000 万ユーロとなりました。

エマージング・マーケット におけるリテール・バンキング業務は、ウクルシブバンクの買収と力強い有機的成長の複合効果により、営業収益は前年同期比 45.9% 増の 3 億 500 万ユーロを達成しました (比較可能ベースで同 35.1% 増)。また、地中海・湾岸諸国、東欧諸国において、2006 年度に 340 の新規拠点を (そのほぼ大半を年後半に) 設立しましたが、2007 年度第 1 四半期にさらに 47 拠点を開設しました。こうした力強い成長を反映して、費用は比較可能ベースで前年同期比 29.9% 増となりましたが、それでもポジティブなジョーズ効果を維持しております。

また、同グループの他の事業ラインとのクロスセリングは、こうした高成長が見込まれるマーケットにおける同社の事業モデルの導入により引き続き促進されております。BNP パリバ・グループが 2005 年 2 月に買収したトルコの **TEB** の 2 年後の例はこうしたアプローチをよく示しております。**TEB** の支店数は倍増し、BNP パリバ・リース・グループやアルバル、UCB や最近では **BNL** とのクロスセリングを率先して進めております。

バンクウェスト は引き続き力強いセールス・マーケティングが原動力となり、貸出残高は比較可能ベースで前年同期比 5.8% 増となりました。また保険・証券取引・デリバティブセールスの手数料も急速に伸びました。しかし、逆イールドカーブの進展によりバンクウェストの利鞘は、2006 年度第 1 四半期の 3.48% から 3.21% に縮小しました。さらに、ドル安 (前年同期比で平均 8% 下落) も、バンクウェストのユーロ建て収益を押し下げる要因となりました。その結果、当四半期の営業収益は前年同期比 11.4% 減 (比較可能ベースで同 4.1% 減) の 5 億 1100 万ユーロとなりました。営業費用および減価償却費は、有機的成長プランの実施にもかかわらず、同 8.5% 減 (比較可能ベースで同 0.7% 減) を実現しました。バンクウェストは極めて質の高いモーゲージ・ポートフォリオを有していることから、リスク費用を 2300 万ユーロという低水準に留めることが出来たからです (リスク加重資産で算出すると 24 ベーシスポイント)。それでも、2006 年度第 1 四半期に記録した 900 万ユーロという極めて低い水準は上回りました。その結果、バンクウェストの税引前利益は前年同期比 20.0% 減 (比較可能ベースで 13.4% 減) の 2 億 2000 万ユーロとなりました。

2. 資産運用および証券管理 (AMS) 事業

四半期毎に、AMS 事業は収益成長と価値創造におけるビジネス・モデルの有効性を示す形となりました。第 1 四半期の営業収益は、前年同期比 21.9% 増 (連結対象や為替変動の影響を除いた比較可能ベースでは同 17.0% 増) に拡大しました。営業費用を上手く抑制した結果 (比較可能ベースで 14.7% 増、収益成長に対し営業費用の伸びがより小幅に抑えられる「ジョーズ」効果は 2.3 ポイント)、税引前利益は同 22.7% 増 (比較可能ベースで 17.1% 増) の 4 億 9200 万ユーロへ好調に伸びました。

2007 年 3 月末現在、AMS 事業の全ビジネス・ラインによる受託資産総額 (BNL 受託分を含む) は 5670 億ユーロと、2006 年 12 月末の水準を 270 億ユーロ上回りました。こうした大幅な伸びは、主として第 1 四半期中の純資金流入額が過去最高 (150 億ユーロ、受託資産総額に対する比率は年率換算で 11.1%) に達したことに起因するものです。

富裕層向け資産運用業務は資産運用および不動産関連サービスの両分野にわたり、好調な取扱高と営業収益の伸びを達成しました。税引前利益は同 30.3% 増となりました。

保険事業はここ数年間の急成長ペースを維持しました。第 1 四半期のフランス国内の受託資産額は、非常に好調だった前年同期との比較では 1% の小幅増となったものの、過去最高を更新しました。また、フランス国外における貯蓄型商品の販売高はインドおよび英国を中心に、同 18% の急増となりました。結果として、税引前利益は同 13.4% 増に拡大しました。

証券管理事業は引き続き着実なペースでの成長を遂げました。証券保管管理 (カストディ) 受託資産残高は、2006 年 3 月末比 11.2% 増の 3 兆 6600 億ユーロへ伸びました。その他管理受託資産残高も 2006 年 3 月末の水準を 31.2% 上回る 7062 億ユーロへ急増となりました。当事業の税引前利益は同 27.8% 増の伸びを達成しました。

3. コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業

CIB 事業は 2006 年第 1 四半期には例外的とも言える良好な相場環境をフルに活かし、四半期ベースでは過去最高の営業収益を達成しました。当期にはそうした好環境の側面が薄れる中、当事業はそのプラットフォームをさらに堅固なものにし、前年同期実績をさらに 5.0% 上回る 23 億 9600 万ユーロの営業収益を計上しました。

営業費用を前年同期比 2.2% 増に抑えた結果、営業総利益は同 8.4% 増の 11 億 2500 万ユーロに拡大しました。当社 CIB 事業のコスト・インカム率は 53.0% と、世界の同業他社の中でも最も良好な水準にあります。

当期中には、米国向けを中心に一部引当金が繰戻しとなった一方、新規繰入額はこれを下回る低水準となった結果、全体では 5600 万ユーロの純繰戻しとなりました (前年同期は 1800 万ユーロの純繰戻し)。

結果として、CIB 事業の税引前利益は同 11.9% 増の 11 億 9100 万ユーロとなりました。

こうした一連の好業績は、CIB 事業がその最先端ビジネスにおいて徐々に確立した、業界最大手としての位置付けにより可能となったものです。

アドバイザーおよびキャピタル・マーケットは、顧客基盤の持続的拡大を享受しました。当期の営業収益は、エクイティ・デリバティブの好業績を受け、特に高水準だった前年同期比でも 3.0% 増となりました。フィクスト・インカムのビジネスラインもやはり、極めて好調だった前年同期実績に遜色ない営業収益を確保しました。マーケット・リスクは引き続き低水準に抑制されています。

ファイナンス業務の営業収益は、前年同期比 9.9% 増の伸びとなりました。アキュイジション・フ

アイナンスおよび LBO ファイナンス案件が、高水準の手数料収入をもたらしたほか、エネルギーおよび輸送関連のストラクチャード・ファイナンスも、最近の原油価格反落を十分に相殺するだけの収益成長となりました。

4. その他の事業活動 (BNP パリバ・キャピタルを含む)

その他の事業活動の営業収益は、前年同期(2億 8600 万ユーロ)を 2 億 5500 万ユーロ上回る 5 億 4100 万ユーロへ増加しました。こうした大幅増収は、主として Vivarte (フランスの衣料品・革製品小売大手) に対する持ち分売却を受けたものです。

営業費用は前年同期を 2500 万ユーロ上回る 1 億 300 万ユーロとなりました。これは特に **BNL の事業再構築連費用** (前年同期のゼロに対し、当期には 2300 万ユーロを計上) に起因するものです。



Tier 1 レシオは 2007 年 3 月 31 日現在、7.4%と 2006 年第 4 四半期末に比べ横ばいとなりました。

第 1 四半期も BNP パリバ・グループは引き続き自己資本管理政策に取り組みました。有機的成長を優先すると同時に (比較可能ベースでリスク加重資産は過去 1 年間に 9%増)、コア事業 (特に AMS 事業) の価値創造を加速化すべく、照準を絞った買収も数件実施しました。その一環として、Findomestic (イタリア Cassa di Risparmio di Firenze との折半出資の消費者金融合併事業) の株主資本 1%を対象としたコール・オプションを行使し、経営権取得のプロセスに着手しました。最終的には出資比率を 51%まで引き上げることを目的としています。また、Banca Cassa di Risparmio di Fierenze との合併交渉も進展中です。この他、当期中には 1 株あたり 80.07 ユーロの平均価格で 116 億ユーロにのぼる自社株買いも実施いたしました。

第 1 四半期の 1 株当たり利益は、2006 年 3 月 31 日に実施した増資にもかかわらず、前年同期比 14.5%増の 2.73 ユーロに増加しました。



汎欧州的な業界リーダーに

BNP パリバは、欧州の金融業界再編における先駆者と言えるでしょう。2000 年以降、リテール・ファイナンス・サービスおよびコーポレート・投資銀行業務、資産運用・証券管理サービスにわたる汎欧州的なプラットフォームを秩序的に構築してきました。持続的な有機的成長と照準を合わせた買収を組み合わせることで、各ビジネスにおける欧州リーダーとしてのプラットフォームが達成されるに至っています。

約 1 年前のイタリア大手銀行 BNL の買収も、BNP パリバにとっては決定的なマイルストーンの一つとなりました。当時は適正と思われるも、現在に至っては割安以上の魅力的な価格だったと判断されます。BNL 買収を通じ、BNP パリバ・グループは初めてユーロ圏内に 2 つのリテール・バンキングのホーム・マーケットを有する金融グループに属したことになります。

イタリアという第二のホーム・マーケットを構築し得たこともまた、BNP パリバ・グループの成長モデルの有効性を裏付けるものとなりました。グループの汎欧州的なスペシャリスト・プラットフォームの強みとそのリテール・バンキングにおける専門知識、もっと遡れば BNP とパリバとの合併過程において蓄積されたノウハウを全て統合化した経営モデルに他なりません。





以上の決算内容に対し、BNP パリバのボードゥアン・プロ最高経営責任者（CEO）は次のようにコメントしました。「当期も引き続き、当社グループは有機的な大幅増収増益を達成しました。すでに高水準だった前年同期と比べても好調な伸びが達成されたこととなります。そうした好決算を可能にした全てのチームおよび社員の多大な努力を労いたいと思います。

BNL 買収は予想されたとおりの成果を挙げています。イタリア市場の潜在性ととも、買収・経営統合に関しては第一級の当社グループのスキルを確認するものと言えます。BNP パリバは収益成長と価値創造のビジネス・モデルを着実に展開しつつあります。」

本プレスリリースに含まれる一部情報およびその他情報もしくは資料は、今後の展開に関する現在の見解および見通しに基づく、あくまでも予測的な記述が含まれている可能性があります。そうした予測的な記述は将来的な業績動向を保証するものではなく、BNP パリバおよびその子会社・出資先企業にまつわる固有リスクや不透明性、前提要因に左右されるものです。さらには、BNP パリバの事業展開、取引先企業の業況トレンド、将来的な設備投資および買収計画、グローバルもしくは BNP パリバの主要地場市場における景況変化、市場競争および当局規制といった要因もそれらに含まれます。これらの事項はいずれも不透明なものであり、現在の予想とは異なる結末と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績動向をもたらす可能性があります。したがって実際の収益動向は、本資料にあくまでも見通しとして示された、あるいは示唆された内容とは実質的に異なる恐れがあることをご留意ください。本資料に含まれるいかなる先行きに関する数字・記述も、あくまでも資料発行時における予測の域を出ないものであることをご理解ください。BNP パリバは、そうした先行きに関する予測を含む一切の資料に関し、公に修正もしくはアップデートを行う責任を何ら負いません。

本資料に含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報は、個別に真実たることを確認したものではありません。かつ第三者にかかる代表もしくは保証を具体的に表現あるいは示唆したものではありません。また、本資料に含まれる第三者にかかる情報もしくは意見の正当性や正確性、完全性、正しさに関して信頼を置くべきものでもありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、本資料もしくはその内容の使用により生じる、あるいは本資料に関連して、あるいは本資料で採り上げられた一切の情報・資料等に関して生じる、いかなる損失または落ち度に対しても責任を負いません。

連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	8,213	6,817	+20.5%	7,052	+16.5%
営業費用および減価償却費	-4,586	-3,862	+18.7%	-4,654	-1.5%
営業総利益	3,627	2,955	+22.7%	2,398	+51.3%
引当金	-260	-116	n.s.	-282	-7.8%
営業利益	3,367	2,839	+18.6%	2,116	+59.1%
関連会社損益	127	62	x2.0	54	x2.4
その他の営業外項目	1	35	n.s.	145	n.s.
営業外損益	128	97	+32.0%	199	-35.7%
税引前利益	3,495	2,936	+19.0%	2,315	+51.0%
法人税	-854	-806	+6.0%	-481	+77.5%
少数株主持分	-134	-117	+14.5%	-115	+16.5%
グループ帰属純利益	2,507	2,013	+24.5%	1,719	+45.8%
コスト/インカム率	55.8%	56.7%	-0.9 pt	66.0%	-10.2 pt

連結対象や為替変動の影響を除いた比較可能ベースで（前年同期比）：

- 営業収益	7.1%増
- 営業費用および減価償却費	5.8%増
- 営業総利益	8.9%増

■ 営業収益の確かな伸び

- BNL 統合と最初のシナジー効果が現れる
- コア事業における持続的な有機的成長：比較可能ベースで前年同期比 7.1% 増
- 高水準のキャピタル・ゲイン

■ 営業費用：比較可能ベースで前年同期比 5.8% 増

- 1.3 ポイントのジョーズ効果

■ リスク費用：連結対象変更による影響として 1 億 900 万ユーロ（BNL 統合の関連費用 9700 万ユーロを含む）

■ コア事業にかかる税引前利益の急増

- 比較可能ベースで前年同期比 9.7% 増

2007 年度第 1 四半期のコア事業の業績

	国内 リテール・ バンキング 事業	BNL bc	IRFS	プライベ ート・バンキ ングおよび資 産運用事業	コーポー レートバンキ ング・投資銀行 事業	継続的事業 の合計	その他*	グループ 全体 (合計)
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	1,459	631	1,919	1,267	2,396	7,672	541	8,213
対前年同期比	+1.0%		+8.7%	+21.9%	+5.0%	+17.5%	+89.2%	+20.5%
対前期比	+7.7%	-2.0%	+0.8%	+9.3%	+20.5%	+8.8%	n.s.	+16.5%
営業費用および減価償却費	-927	-407	-1,098	-780	-1,271	-4,483	-103	-4,586
対前年同期比	+2.8%		+10.2%	+21.5%	+2.2%	+18.5%	+32.1%	+18.7%
対前期比	-2.1%	-14.3%	-3.3%	1.3%	+23.3%	+2.9%	-65.2%	-1.5%
営業総利益	532	224	821	487	1,125	3,189	438	3,627
対前年同期比	-1.8%		+6.6%	+22.7%	+8.4%	+16.1%	n.s.	+22.7%
対前期比	+30.4%	+32.5%	+6.8%	+25.2%	+17.6%	+18.5%	n.s.	+51.3%
引当金	-32%	-81	-202	-2	56	-261	1	-260
対前年同期比	+3.2%		+32.0%	n.s.	n.s.	+64.2%	-97.7%	n.s.
対前期比	-42.9%	11.0%	+23.9%	n.s.	+64.7%	-7.1%	n.s.	-7.8%
営業利益	500	143	619	485	1,181	2,928	439	3,367
対前年同期比	-2.2%		+0.3%	+20.0%	+11.8%	+13.1%	+74.9%	+18.6%
対前期比	+42.0%	+83.3%	+2.1%	+26.3%	+19.2%	+21.4%	n.s.	+59.1%
関連会社損益	0	0	19	7	6	32	95	127
その他の営業外項目	0	0	1	0	4	5	-4	1
税引前利益	500	143	639	492	1,191	2,965	530	3,495
対前年同期比	-2.2%		-5.3%	+22.7%	+11.9%	+11.8%	+86.0%	+19.0%
対前期比	+41.6%	+70.2%	+6.5%	+20.0%	+20.3%	+21.7%	n.s.	+51.0%
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	1,459	631	1,919	1,267	2,396	7,672	541	8,213
1Q06	1,444		1,766	1,039	2,282	6,531	286	6,817
4Q06	1,355	644	1,904	1,159	1,988	7,050	2	7,052
営業費用および減価償却費	-927	-407	-1,098	-780	-1,271	-4,483	-103	-4,586
1Q06	-902		-996	-642	-1,244	-3,784	-78	-3,862
4Q06	-947	-475	-1,135	-770	-1,033	-4,358	-296	-4,654
営業総利益	532	224	821	487	1,125	3,189	438	3,627
1Q06	542		770	397	1,038	2,747	208	2,955
4Q06	408	169	769	389	957	2,692	-294	2,398
引当金	-32	-81	-202	-2	56	-261	1	-260
1Q06	-31		-153	7	18	-159	43	-116
4Q06	-56	-91	-163	-5	34	-281	-1	-282
営業利益	500	143	619	485	1,181	2,928	439	3,367
1Q06	511		617	404	1,056	2,588	251	2,839
4Q06	352	78	606	384	991	2,411	-295	2,116
関連会社損益	0	0	19	7	6	32	95	127
1Q06	0		20	-1	1	20	42	62
4Q06	1	0	-9	29	7	28	26	54
その他の営業外項目	0	0	1	0	4	5	-4	1
1Q06	0		38	-2	7	43	-8	35
4Q06	0	6	3	-3	-8	-2	147	145
税引前利益	500	143	639	492	1,191	2,695	530	3,495
1Q06	511		675	401	1,064	2,651	285	2,936
4Q06	353	84	600	410	990	2,437	-122	2,315
少数株主持分								-134
法人税								-854
グループ帰属純利益								2,507

*BNP パリバ・キャピタルを含む。

国内リテール・バンキング PEL / CEL (ホームセイビングス・プラン) の影響を除く

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	1,499	1,440	+4.1%	1,385	+8.2%
内利ざや	802	802	+0.0%	768	+4.4%
内手数料、その他	697	638	+9.2%	617	+13.0%
営業費用および減価償却費	-954	-927	+2.9%	-972	-1.9%
営業総利益	545	513	+6.2%	413	+32.0%
引当金	-31	-31	+0.0%	-56	-44.6%
営業利益	514	482	+6.6%	357	+44.0%
営業外損益	0	0	n.s.	1	n.s.
税引前利益	514	482	+6.6%	358	+43.6%
AMS 帰属収益	-41	-35	+17.1%	-28	+46.4%
国内リテール・バンキングの 税引前利益	473	447	+5.8%	330	+43.3%
コスト/インカム率	63.6%	64.6%	-0.8 pt	70.2%	-6.6 pt

営業収益から税引前利益までの項目に国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

- 営業収益：前年同期比 4.1%増
 - 利ざやは横ばい(同 0.0%)。規制金利の上昇とイールドカーブ・フラット化による利ざや圧迫を、強力な販促モメンタムで吸収
 - 手数料収入の大幅増：同 9.2%増
- 営業費用および減価償却費は上手く抑制：同 2.9%増
- リスク費用は前年同期と同様、なお低水準：当四半期は 15bp

PEL / CEL (ホームセイビングス・プラン) の影響を含む

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	1,526	1,504	+1.5%	1,408	+8.4%
内利ざや	829	866	-4.3%	791	+4.8%
内手数料、その他	697	638	+9.2%	617	+13.0%
営業費用および減価償却費	-954	-927	+2.9%	-972	-1.9%
営業総利益	572	577	-0.9%	436	+31.2%
引当金	-31	-31	+0.0%	-56	-44.6%
営業利益	541	546	-0.9%	380	+42.4%
営業外損益	0	0	n.s.	1	n.s.
税引前利益	541	546	-0.9%	381	+42.0%
AMS 帰属収益	-41	-35	+17.1%	-28	+46.4%
国内リテール・バンキングの 税引前利益	500	511	-2.2%	353	+41.6%
コスト/インカム率	62.5%	61.6%	+0.9 pt	69.0%	-6.5 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	5.7	5.4	+5.5%		

営業収益から税引前利益までの項目に国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

- 利息収入は FRB の業績動向を必ずしも反映せず
 - PEL / CEL (ホームセイビングス・プラン) 引当金の IFRS 基準適用による影響を受ける
- PEL / CEL 引当金の IFRS 基準適用による影響：2006 年第 1 四半期の 6400 万ユーロ、第 4 四半期の 2300 万ユーロに対し、当期は 2700 万ユーロ
 - 数量効果(資金アウトフローによる影響)は 1000 万ユーロ
 - 金利変動による影響は 1700 万ユーロ

個人顧客

■ 新規顧客獲得を加速

- 年初来、8 万人の新規顧客を獲得、若年層を対象とした新商品（マルチプレースメント型 Avenir：18 歳以下の若年層向け生命保険）が主な貢献要因に
- 若年層向けマーケット：人生の各段階にカスタマイズした商品オファーと販促アプローチ（“ Weezbee ”および Livret Jeunes 口座、ローン、インターネット・バンキング等）で、顧客ロイヤリティの向上とともに、顧客 1 人当たりの Wallet Share（財布に占める自社シェア）を伸ばす

■ イノベーションの続行

- 元本保証型インデックス・ミューチュアル・ファンドを好調に立ち上げる（Conquistador および Mambo）

法人向け取引

■ ビジネス・センターの好調

- 資産運用業務のモメンタム拡大（ミューチュアル・ファンド受託残高：前年同期比 13.3% 増）
- 地域ディーリング・ルームの取引急増：同 40% 増
- アルバル（車両リース子会社）の新規契約台数：同 26% 増
- 現金回収業務の拡大（小切手、バンクカード、ダイレクト・デビット）：同 10.8%

手数料収入

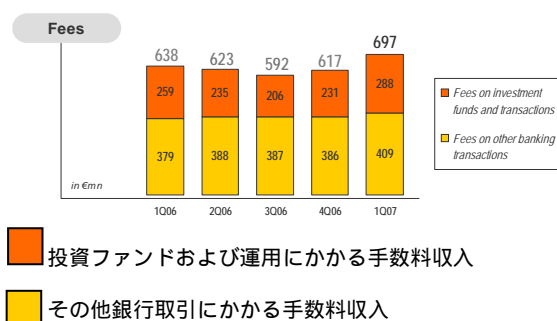
■ 投信および金融取引にかかる手数料収入：非常に高水準だった前年同期比でも 11.2% 増

- 市場取引の急増
- 2006 年度中の運用拡大と単位型保険商品の高シェアを受け、受託資産にかかる手数料収入が大幅増

■ その他銀行サービス関連の手数料収入：同 8.0% 増

- 顧客基盤の拡大と取引漸増を受けた、強力な販促モメンタム
- 銀行取引の手数料率は競争力のあるレベルを維持（Consummation, Logement et Cadre de Vie による 2007 年調査）

手数料収入（単位：百万ユーロ）



貸出総額、預金および預り資産

(単位：10億ユーロ)	2007年度 第1四半期	対前年 同期比	対前年比
貸出総額 (1)			
貸出総額	101.1	+9.0%	+2.8%
個人向け	54.2	+11.1%	+2.0%
モーゲージ・ローン	46.7	+12.0%	+2.2%
消費者ローン	7.5	+5.9%	+0.7%
法人向け	43.6	+7.8%	+4.1%
預金および預り資産 (1)	83.7	+5.8%	+1.9%
要求払い・当座預金	35.1	+6.9%	+0.8%
貯蓄預金	37.3	-2.2%	+1.2%
市場金利預金	11.3	+39.7%	+8.0%

(1) 平均残高

(単位：10億ユーロ)	2007年 3月31日	対前年 同期比	対前期比
預り資産			
生命保険	54.5	+12.8%	+4.1%
投資信託 (2)	82.2	+14.7%	+6.1%

(2) これらの数字にはルクセンブルク国籍のミューチュアル・ファンドを含まず（パーベスト投信）。

■ 販促モメンタム

- モーゲージ貸出：低スプレッドの環境下で選別的与信
- 法人向け貸出：投融資を中心に実行残が伸びる
- 要求払い・当座預金口座：法人顧客の預金獲得に大きく貢献
- 商品ラインナップの刷新を受け、生保商品に持続的資金流入：高水準だった前年同期比で 12.8% 増（前年同期と同様、市場平均（6% 増）*を上回るペース、*出所：FFSA）

BNL バンカ・コメルシアレ (BANCA COMMERCIALE)

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	638	592	+7.8%	651	-2.0%
営業費用および減価償却費	-412	-408	+1.0%	-481	-14.3%
営業総利益	226	184	+22.8%	170	+32.9%
引当金	-81	-84	-3.6%	-91	-11.0%
営業利益	145	100	+45.0%	79	+83.5%
営業外損益	0	-2	n.s.	6	n.s.
税引前利益	145	98	+48.0%	85	+70.6%
AMS 帰属収益	-2	-2	+0.0%	-1	n.s.
イリテール・バンキングの 税引前利益	143	96	+49.0%	84	+70.2%
コスト/インカム率	64.6%	68.9%	-4.3 pt	73.9%	-9.3 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	3.0	2.8	+6.0%		

営業収益から税引前利益までの項目に伊プライベート・バンキングの 100%を含む。

- 営業収益：プロフォーマ・ベースで前年同期比 7.8% 増
 - 取引量拡大と預貸利ざやの改善を受け、利息収入が増加
- 2007 年第 1 四半期業績におけるシナジー効果はほぼ目標達成
 - 900 万ユーロのコスト・シナジー効果、1200 万ユーロの増収効果、合併にかかる限界費用は 200 万ユーロ
- リスク費用は安定推移
 - 前年同期の 72bp に対し、当期は 67bp (プロフォルマ・ベース、引当金繰入額 / リスク加重資産)
- 税引前利益：前年同期比 49.0% 増

貸出総額、預金および預り資産

(単位：10億ユーロ)	2007年度第1 四半期	対前年同期比	対前期比
貸出総額(1)	50.9	+3.8%	-0.8%
リテール事業および個人向け	23.2	+7.7%	+0.9%
モーゲージ・ローン	16.6	+10.2%	+1.3%
法人向け	27.7	+0.7%	-2.2%
預金および預かり資産(1)	31.7	+5.1%	+1.7%
リテール事業および個人向け	20.7	+5.4%	+1.4%
法人向け	11.1	+4.5%	+2.2%
(1) 平均残高			
	07年3月31日	対前年同期比	対前期比
預かり資産			
投資信託(2)	11.9	-19.7%	-7.7%
生命保険	10.4	+23.1%	+8.3%
(2) BNL bc に帰属しない投資信託「パーベスト」事業を差引後 (単位型商品を含む)。			

- 高水準のモーゲージ貸出が、リテール貸出の伸びを牽引
- 法人向け貸出は、リスク集中度の低減策より影響を受ける
- リテールおよび法人向け預金为好調に伸びる
- ミューチュアル・ファンドの純資金流出も、生保受託残高の大幅増により相殺

リテールおよび個人顧客

■ 新規口座開設数：前年同期の 2 万 4 千口座の純減に対し、当期は 2 千口座の純増

- 個人顧客：新規口座開設：前年同期比 43% 増（Conto Revolution の導入以降では 70% 増）
- コマーシャル・キャンペーン中の個人顧客問い合わせ件数：前年同期比 30% 増
- 中小企業：新規口座開設件数は同 129% 増、自然減は同 31% の低減

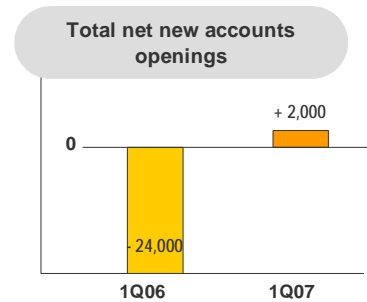
■ AMS 事業と bancassurance のクロスセリングにおけるシナジー効果享受

- 純資金流入額：前年同期比で 2.2 倍、生命保険 Total Return の投入が奏効

■ 中小企業向け顧客へマルチチャネルの販売チャネル

- Business Way の契約件数：4,300 件（前年同期は 1,500 件）
- Business Way による取引高：24 万 6,900 件（同 12 万 1,400 件）

新規口座開設数の純増／純減



法人顧客

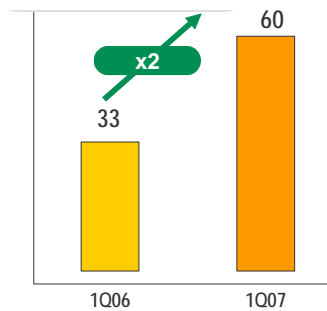
■ 新たなカバレッジとビジネス・モデルを有する 21 のビジネス・センター

- CIB とのクロスセリング拡大に上級スタッフを配備
- 新規の与信管理：地域的クレジット・リスクのストラクチャーを導入
- 2007 年 7 月までに全国ベースのモデルを導入

■ より高収益の商品およびクロスセリングのイニシアティブに再び照準を合わせたビジネス展開

- 670 の新規口座開設（うち 130 口座が年間 1000 万ユーロ以上の取引額）
- 60 件のストラクチャード・ファイナンスのマンデート獲得、うち 32 件がクローリング済み
- トレード・ファイナンス関連の手数料収入は前年同期比 10% の伸び
- プライベート・バンキングとのクロスセリング：年間 50% の目標達成

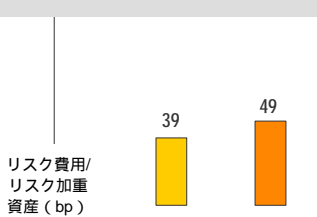
ストラクチャード・ファイナンスのマンデート獲得案件



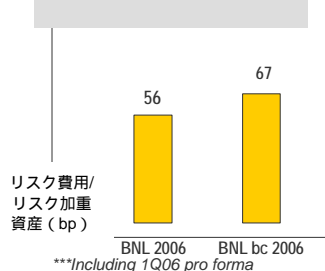
リスク費用

- イタリア会計基準の下では、BNL のリスク費用は同業他社を下回る
- BNL のグループ帰属リスク費用は、会計基準の異なるイタリア同業他社とは比較不可能
- BNL bc のリスク費用はほぼ横ばい：2006 年通期の 67bp に対し、当期も 67bp
 - BNL 単体よりも高水準：CIB および IRFS に移管された事業のリスク費用がより少額となったため
- リスク費用はイタリア会計基準に拠る場合に比べより高水準となるものの、ほぼ横ばいで推移

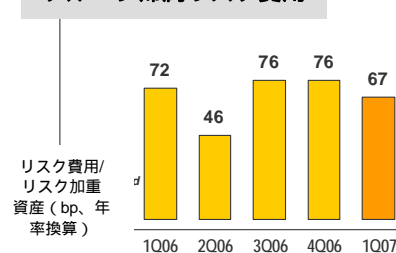
BNL vs 同業他社
(イタリア国内会計基準)



BNL と BNL bc
(グループ帰属)***



BNL bc の四半期ベース
グループ帰属リスク費用



***2006 年第 1 四半期のプロフォルマ・ベースの数字を含む。

*BNP パリバ連結財務諸表の調整および会計基準との統一化による一時的影響を除く。

**同業他社の平均値には Banca Intesa、Capitalia、Unicredit、San Paolo IMI、MPS の数値が含まれる（BNL 決算に含まれた試算値）。

海外リテール・バンキングおよび金融サービス（IRFS）

（単位：百万ユーロ）	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	1,919	1,766	+8.7%	1,904	+0.8%
営業費用および減価償却費	-1,098	-996	+10.2%	-1,135	-3.3%
営業総利益	821	770	+6.6%	769	+6.8%
引当金	-202	-153	+32.0%	-163	+23.9%
営業利益	619	617	+0.3%	606	+2.1%
関連会社損益	19	20	-5.0%	-9	n.s.
その他の営業外項目	1	38	n.s.	3	n.s.
税引前利益	639	675	-5.3%	600	+6.5%
コスト/インカム率	57.2%	56.4%	+0.8 pt	59.6%	-2.4 pt
割当株主資本（10 億ユーロ）	7.7	6.9	+10.8%		

比較可能ベースで：

前年同期比の営業収益は 8.5% 増、営業費用および減価償却費は同 8.7% 増、営業総利益は 8.2% 増、営業利益は 4.4% 増、税引前利益は 4.0% 増

■ 連結対象変更と為替変動による影響

- ウクルシブバンク統合
- ドル安進行：平均レートは前年同期比 8% のドル安
- その他営業外損益項目：従来連結対象だった子会社の売却で、前年同期には 3700 万ユーロの特別利益を計上
- 比較可能ベースでは税引前利益は前年同期比 4.0% 増

セテレム

（単位：百万ユーロ）	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	714	639	+11.7%	690	+3.5%
営業費用および減価償却費	-393	-353	+11.3%	-430	-8.6%
営業総利益	321	286	+12.2%	260	+23.5%
引当金	-151	-131	+15.3%	-101	+49.5%
営業利益	170	155	+9.7%	159	+6.9%
関連会社損益	17	18	-5.6%	1	n.s.
その他の営業外項目	0	37	n.s.	-1	n.s.
税引前利益	187	210	-11.0%	159	+17.6%
コスト/インカム率	55.0%	55.2%	-0.2 pt	62.3%	-7.3 pt
割当株主資本（10 億ユーロ）	2.1	1.8	+14.5%		

比較可能ベースで：

前年同期比の営業収益は 10.5% 増、営業費用および減価償却費は同 9.5% 増、営業総利益は 11.8% 増、税引前利益は 9.4% 増

- 営業収益は前年同期比 10.5% 増*：当期増収のほぼ半分をフランス国外で達成
- 比較可能ベースでポジティブなジョーズ効果：1 ポイント
- リスク費用は 197bp（対リスク加重資産）と、前年同期比（196bp）でほぼ横ばい
- 3 月 19 日付で Findomestic（イタリア消費者金融合併事業）の経営権取得プロセスに着手
 - Findomestic の株主資本の 1% を対象としたコール・オプションを行使
 - Cassa di Risparmio di Firenze との交渉が進展中
- 税引前利益：前年同期比 9.4% 増*
 - 前年同期には連結子会社の売却による 3700 万ユーロの特別利益を計上

*連結対象および為替変動による影響を除いた、比較可能ベース（前年同期比）。

バンクウエスト

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	511	577	-11.4%	534	-4.3%
営業費用および減価償却費	-268	-293	-8.5%	-267	+0.4%
営業総利益	243	284	-14.4%	267	-9.0%
引当金	-23	-9	n.s.	-20	+15.0%
営業利益	220	275	-20.0%	247	-10.9%
関連会社損益	0	0	n.s.	0	n.s.
その他の営業外項目	0	0	n.s.	1	n.s.
税引前利益	220	275	-20.0%	248	-11.3%
コスト/インカム率	52.4%	50.8%	+1.6 pt	50.0%	+2.4 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	2.4	2.7	-9.0%		

前年比比較可能ベースで：前年同期比の営業収益は4.1%減、営業費用および減価償却費は同0.7%減、営業純利益は7.5%減

- 営業収益：為替変動の影響を除いた場合、前年同期比 4.1%減
 - 良好な販促モメンタム
 - 逆イールドカーブによる純利ざやに対する影響：同 27bp の利ざや圧縮
 - 手数料収入の大幅増（保険、ブローカレッジ、デリバティブ）
- 営業費用：為替変動の影響を除いた場合、同 0.7%減
 - 7ヶ所のスペシャルティ・ブランチ（アグリビジネス 4ヶ店、法人取引 2ヶ店、保険 1ヶ店）を含む計 9店舗を新規開設
 - 商品・サービスのラインナップ充実：特にキャッシュ・マネージメントおよびプライベート・バンキング分野を強化
 - コマーシャル・フェデラル（バンクウエスト傘下の米商業銀行）合併によるシナジー効果が通期で現出し、事業拡大をファイナンス
- リスク費用は軽度（対リスク加重資産で 24bp）
 - 前年同期は 9bp と特に低水準

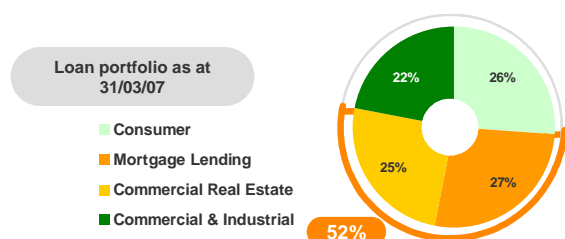
(US GAAP)

(単位：10 億ドル)	1Q07	1Q06	1Q07/1Q06	4Q06	1Q07/4Q06
総資産	66.6	65.4	+1.8%	66.9	-0.4%
ローンおよびリース実行残	46.1	43.6	+5.8%	45.6	+1.2%
預金	43.7	41.8	+4.6%	44.4	-1.4%
	07年3月 31日	06年3月 31日	07年3月31日 /06年3月31日	06年12月 31日	07年3月31日 /06年12月31日
分類債権 / 貸出残高および差し押さえ不動産	0.57%	0.50%	+7 bp	0.57%	+0 bp
	1Q07	1Q06	1Q07/1Q06	4Q06	1Q07/4Q06
純利ざや	3.21%	3.48%	-27 bp	3.13%	+8 bp

不動産ポートフォリオも良好な質を保持

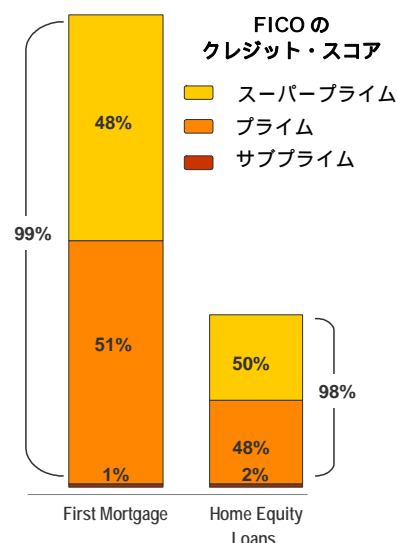
- 同業他社に比べ、不動産セクターへのエクスポージャーが少ない：業界平均の 62% に対し、バンクウェストは 52%
- 商業用不動産：ポートフォリオの 25% を占める
 - うち約半分が、所有者が居住する不動産を担保とする抵当（C&I）ローン
 - バンクウェストの内部格付けで「サブプライム」に属す与信は全体の 2% 以下
 - バンクウェストの全般的リスク費用に占める割合もごく軽微
- 個人向けモーゲージ貸出：ポートフォリオの構成比は 27%
 - 全米 20 州に地域的分散化されたポートフォリオ、カリフォルニアおよびハワイの構成比はそれぞれ 39% と 15%
 - サブプライム顧客へのエクスポージャーはごく限定的

2007 年 3 月 31 日付け
ローンのポートフォリオ



- 消費者ローン
- 企業向け不動産関連融資
- モーゲージ・ローン
- 商工業ローン

個人向けモーゲージ・ローンのクオリティ別組成



第一抵当権担保貸出 ホーム・エクイティ・ローン

エマージング・マーケット

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	305	209	+45.9%	305	+0.0%
営業費用および減価償却費	-205	-138	+48.6%	-204	+0.5%
営業総利益	100	71	+40.8%	101	-1.0%
引当金	-11	-3	n.s.	-22	n.s.
営業利益	89	68	+30.9%	79	+12.7%
関連会社損益	4	0	n.s.	-1	n.s.
その他の営業外項目	0	0	n.s.	2	n.s.
税引前利益	93	68	+36.8%	80	+16.3%
コスト/インカム率	67.2%	66.0%	+1.2 pt	66.9%	+0.3 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	1.0	0.6	+52.3%		

前年比比較可能ベースで：前年同期比の営業収益は 35.1% 増、営業費用および減価償却費は同 29.9% 増、営業純利益は 46.2% 増

- 連結対象変更による影響：ウクルシブバンクの合併
- 比較可能ベースで、ポジティブなジョーズ効果
 - 営業収益：前年同期比 35.1% 増
 - 営業費用：同 29.9% 増
- 営業費用の増加は、好調な有機的成長に起因するもの
 - 2006 年中の 340 店舗開設の 80% が年後半に実施される
 - 当期は 47 店舗を新規開設（前年同期は 6 ケ店のみ）

UCB とエクイップメント・ソリューションズ

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	389	342	+14.1%	375	+3.7%
営業費用および減価償却費	-232	-212	+9.4%	-234	-0.9%
営業総利益	157	129	+21.7%	141	+11.3%
引当金	-17	-10	+70.0%	-20	-15.0%
営業利益	140	119	+17.6%	121	+15.7%
関連会社損益	-2	2	n.s.	-9	n.s.
その他の営業外項目	1	1	+0.0%	1	+0.0%
税引前利益	139	122	+13.9%	113	+23.0%
コスト/インカム率	59.6%	62.2%	-2.9 pt	62.4%	-2.8 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	2.2	1.8	+21.9%		

前年比比較可能ベースで：前年同期比の営業収益は6.8%増、営業費用および減価償却費は同4.1%増、営業純利益は10.9%増

■ アルバル (車両リース子会社)：良好なビジネス・モメンタムを持続

- フランス：中古車市場の改善
- フランス国外：ドイツ、イタリア、スペインを中心に大幅増収を達成

■ BNP パリバ・リース・グループ (BPLG)：Centro Leasing Banca に対する 43.5% 持ち分を Cassa di Risparmio di Firenze に売却することで合意

- 売却価格は約 7500 万ユーロ
- イタリア中銀および同国公正取引委員会の承認を条件とする

専門的な金融サービス - 貸出総額

(単位：10 億ユーロ)	2007 年 3 月	2006 年 3 月	対前年比	2006 年 12 月	対前年 同期比
セテレム	55.3	45.9	+20.5%	53.3	+3.6%
フランス (1)	31.8	27.1	+17.6%	30.9	+3.2%
海外	23.4	18.8	+24.7%	22.5	+4.3%
BNP パリバ・リース・グループ (中期) (2)	20.7	15.3	+35.5%	20.8	-0.2%
フランス	10.5	10.7	-1.7%	10.6	-0.7%
欧州 (フランスを除く) (2)	10.2	4.6	n.s.	10.2	+0.3%
UCB (個人)	33.7	29.2	+15.5%	32.6	+3.5%
フランス (個人) (1)	16.4	15.6	+4.9%	16.1	+1.7%
欧州 (フランスを除く)	17.3	13.6	+27.7%	16.5	+5.2%
長期リース	6.8	6.2	+9.8%	6.6	+1.8%
フランス	2.2	2.0	+10.3%	2.1	+3.8%
欧州 (フランスを除く)	4.5	4.1	+9.6%	4.5	+0.9%
アルバル					
合計 (単位：千) フリート数	512	470	+9.0%	504	+1.7%
ファイナンス車輛を含む	615	596	+3.2%	623	-1.3%

(1) UCB フランスからセテレム・フランスへの 9 億ユーロ (2006 年 12 月 31 日現在) および 10 億ユーロ (2007 年 3 月 31 日現在) の付け替えを含む (債務整理の一部)。

(2) BNL のリース子会社 (Locafit) の実行残 (2006 年 12 月 31 日現在、50 億ユーロ) を連結化。

資産運用、保険および証券管理事業

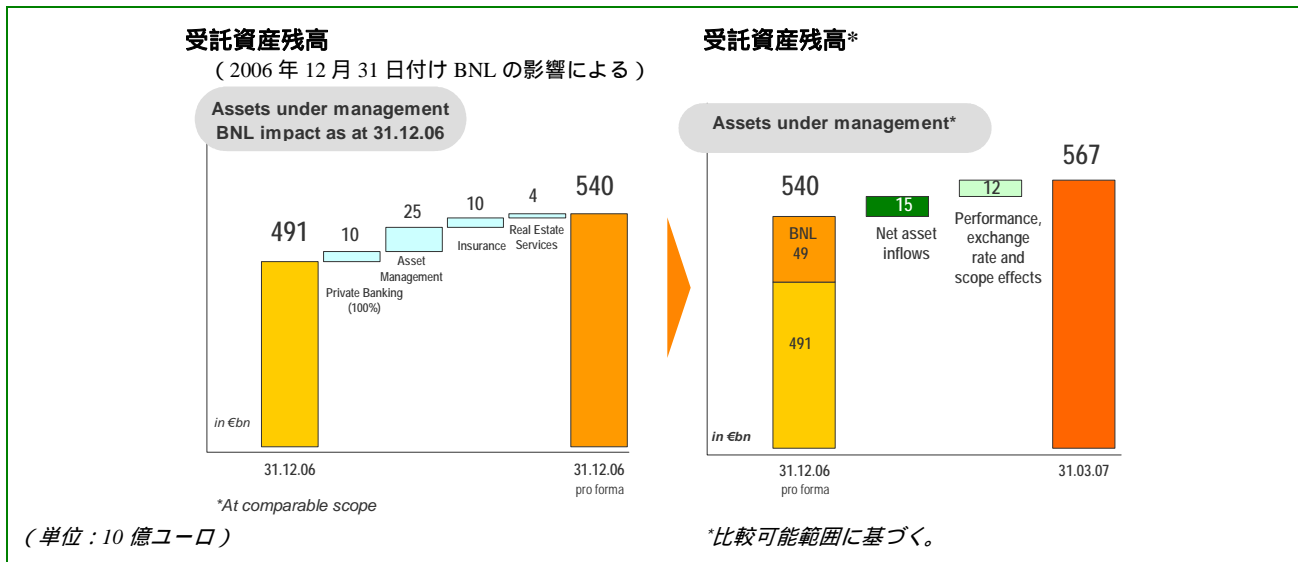
(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	1,267	1,039	+21.9%	1,159	+9.3%
営業費用および減価償却費	-780	-642	+21.5%	-770	+1.3%
営業総利益	487	397	+22.7%	389	+25.2%
引当金	-2	7	n.s.	-5	n.s.
営業利益	485	404	+20.0%	384	+26.3%
関連会社損益	7	-1	n.s.	29	n.s.
営業外損益	0	-2	n.s.	-3	n.s.
税引前利益	492	401	+22.7%	410	+20.0%
コスト/インカム率	61.6%	61.8%	-0.2 pt	66.4%	-4.8 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	5.0	4.2	+18.1%		

前年比比較可能ベースで：前年同期比の営業収益は17.0%増、営業費用および減価償却費は同14.7%増、営業純利益は20.7%増

- 非常に好調な有機的成長：営業収益は比較可能ベースで前年同期比 17.0%増
 - 過去の受託資産残高の伸び（1年間で13.7%増）が大きく貢献
 - 高水準の取引高（証券サービス：同25.5%増、個人投資家：同17%増）
- 営業費用は上手く抑制される：比較可能ベースで同14.7%増
 - 比較可能ベースで2.3ポイントのジョーズ効果
 - 急速な有機的成長と海外展開のテコ入れに見合った運用
- 大幅増益
 - 税引前利益は：前年同期比22.7%増

受託資産残高

- 受託資産残高：5670 億ユーロへ、期中に 270 億ユーロの増加*
- 純資金流入額は年率 11.1%の増加ベース



事業

	06年3月31日	07年3月31日	07年3月31日/06年3月31日	07年3月31日/06年3月31日 プロフォルマ**
受託資産残高(単位:10億ユーロ)	451.3	567.5	25.7%	13.7%
資産運用	208.4	277.6	33.2%	17.3%
プライベート・バンキングおよびコータル・コンソール	148.1	175.5	18.5%	11.0%
保険	94.8	106.4	12.2%	1.6%
不動産サービス	-	8.0	-	-

*2006 年 6 月 30 日付の不動産サービスに対する受託資産残高および入超残高。

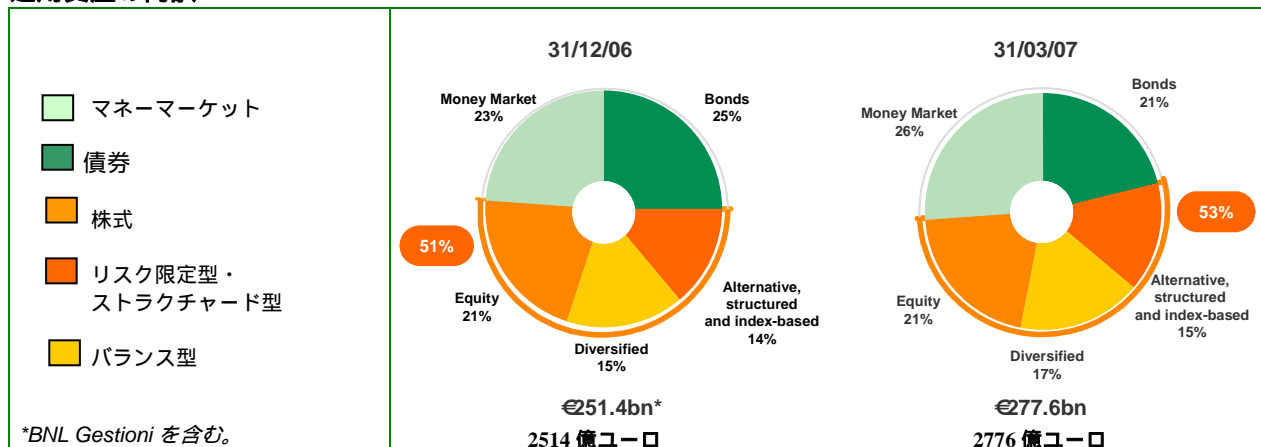
	1Q06	1Q07	1Q07/1Q06
純資金流入額	10.9	15.0	37.8%
資産運用	5.6	8.7	55.3%
プライベート・バンキングおよびコータル・コンソール	3.2	3.5	10.0%
保険	2.1	2.8	33.9%

	06年3月31日	07年3月31日	07年3月31日/06年3月31日
証券管理			
保護預かり(カストディ)資産残高(単位:10億ユーロ)	3,291	3,660	+11.2%
管理資産(単位:10億ユーロ)	538.1	706.2	+31.2%

	1Q06	1Q07	1Q07/1Q06
取引件数(単位:千)	7,995	10,032	+25.5%

**BNL の資産を含む。

運用資産の内訳



資産管理

資産管理 = プライベート・バンキング + 資産運用 + コータル・コンソール + 不動産サービス

(単位: 百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	653	520	+25.6%	611	+6.9%
営業費用および減価償却費	-429	-347	+23.6%	-427	+0.5%
営業総利益	224	173	+29.5%	184	+21.7%
引当金	-1	2	n.s.	-3	n.s.
営業利益	223	175	+27.4%	181	+23.2%
関連会社損益	5	-1	n.s.	13	-61.5%
その他の営業外項目	0	1	n.s.	-4	n.s.
税引前利益	228	175	+30.3%	190	+20.0%
コスト/インカム率	65.7%	66.7%	-1.0 pt	69.9%	-4.2 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	1.5	1.2	+22.3%		

前年比較可能ベースで: 前年同期比の営業収益は 15.5%増、営業費用および減価償却費は同 10.0%増、営業純利益は 26.2%増

- 営業収益の大幅増: 比較可能ベースで前年同期比 15.5%増
 - 証券売買仲介、資産運用、販売ならびに不動産関連サービスにおける持続的販促策が奏効
- 大幅なジョーズ効果: 比較可能ベースで 5.5 ポイント
- 最近の買収案件が大きく貢献
 - BNL 事業の買収、英 Gesinar and Fuller Peiser による不動産関連サービスへの収益貢献、FFTW (Fischer Francis Trees & Watts) を AMS 傘下の全額出資パートナーとする
- 税引前利益: 同 30.3%増

保険

(単位: 百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	353	310	+13.9%	236	+8.3%
営業費用および減価償却費	-159	-140	+13.6%	-156	+1.9%
営業総利益	194	170	+14.1%	170	+14.1%
引当金	-1	5	n.s.	-2	n.s.
営業利益	193	175	+10.3%	168	+14.9%
関連会社損益	2	0	n.s.	16	n.s.
営業外損益	0	-3	n.s.	1	n.s.
税引前利益	195	172	+13.4%	185	+5.4%
コスト/インカム率	45.0%	45.2%	-0.2 pt	47.9%	-2.9 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	3.0	2.5	+18.9%		

- 営業収益: 前年同期比 13.9%増
- 資金流入額は高水準だった前年同期比でも更に伸びる
 - フランス: グロス資金流入額は同 1%増の 36 億ユーロ (マーケット全体では同 6%の減少、出所: FFSA)、うち単位型保険商品の構成比が 45.2%と、市場平均 (29%) を上回る
 - フランス国外: グロス資金流入額 (12 億ユーロ) は前年同期比 18%の大幅増、特にインド (同 155%増) と英国 (同 36%増) の伸びが目立つ
- 営業費用: フランス国内の高成長と海外展開の加速化に伴い、同 13.6%増
 - 2007 年度: 7 ヶ国に新規参入、拠点開設のプロセスが進展中
- 税引前利益: 同 13.4%増

証券管理

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	261	209	+24.9%	222	+17.6%
営業費用および減価償却費	-192	-155	+23.9%	-187	+2.7%
営業総利益	69	54	+27.8%	35	+97.1%
引当金	0	0	n.s.	0	n.s.
営業利益	69	54	+27.8%	35	+97.1%
営業外損益	0	0	n.s.	0	n.s.
税引前利益	69	54	+27.8%	35	+97.1%
コスト/インカム率	73.6%	74.2%	-0.6 pt	84.2%	-10.6 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	0.5	0.5	+4.9%		

- 営業収益：前年同期比 24.9%増
 - 多数の新規マンドート案件を受け、極めて高い有機的成長を達成
 - 取引量の急拡大
- 営業費用および減価償却費：同 23.9%増
 - 事業拡大に、人員増強と一層の投資を行う
- グローバルな成長戦力に沿った、選別的な買収
 - RBSI Securities Services (英オフショア市場で広く認知されるリーダー) が、この分野における当社顧客のニーズ拡大により効果的に対応
 - Banco Sabadell 傘下のカストディ専門子会社 ExelBank の買収で、高成長のスペイン市場におけるトップ・プレイヤーとしての位置付けをさらに固める
- 税引前利益：同 27.8%増

コーポレートバンキング・投資銀行事業

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	2,396	2,282	+5.0%	1,988	+20.5%
営業費用および減価償却費	-1,271	-1,244	+2.2%	-1,031	+23.3%
営業総利益	1,125	1,038	+8.4%	957	+17.6%
引当金	56	18	n.s.	34	+64.7%
営業利益	1,181	1,056	+11.8%	991	+19.2%
関連会社損益	6	1	n.s.	7	n.s.
営業外損益	4	7	n.s.	-8	n.s.
税引前利益	1,191	1,064	+11.9%	990	+20.3%
コスト/インカム率	53.0%	54.5%	-1.5 pt	51.9%	+1.1 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	10.9	9.4	+15.3%		

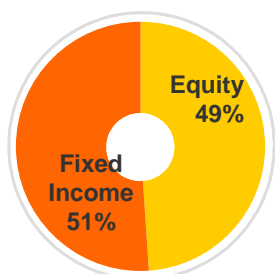
- 営業収益は 2006 年第 4 四半期比で 20.5%増、特に高水準だった前年同期比では 5.0%増
 - 対顧客取引が活況
 - BNL 事業の統合化による増収効果が、ドル安ユーロ高による減収効果をほぼ相殺
- 営業費用は高水準だった前年同期比で小幅増
- 税引前利益の持続的伸び：前年同期比 11.9%増、2006 年第 4 四半期に比べ 20.3%増
- 割当資本の増加：BNL 買収による影響を除き、前年同期比 6.6%増

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット

(単位：百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	1,672	1,623	+3.0%	1,260	+32.7%
株式とアドバイザーを含む	814	761	+7.0%	491	+65.8%
固定資産を含む	858	862	-0.5%	769	+11.6%
営業費用および減価償却費	-981	-974	+0.7%	-729	+35.1%
営業総利益	691	649	+6.5%	534	+29.4%
引当金	0	0	n.s.	-16	n.s.
営業利益	691	649	+6.5%	518	+33.4%
関連会社損益	6	1	n.s.	7	-14.3%
営業外損益	4	7	-42.9%	5	-20.0%
税引前利益	701	657	+6.7%	530	+32.3%
コスト/インカム率	58.7%	60.0%	-1.3 pt	57.6%	+1.1 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	4.1	3.3	+23.5%		

2007 年第 1 四半期の収益

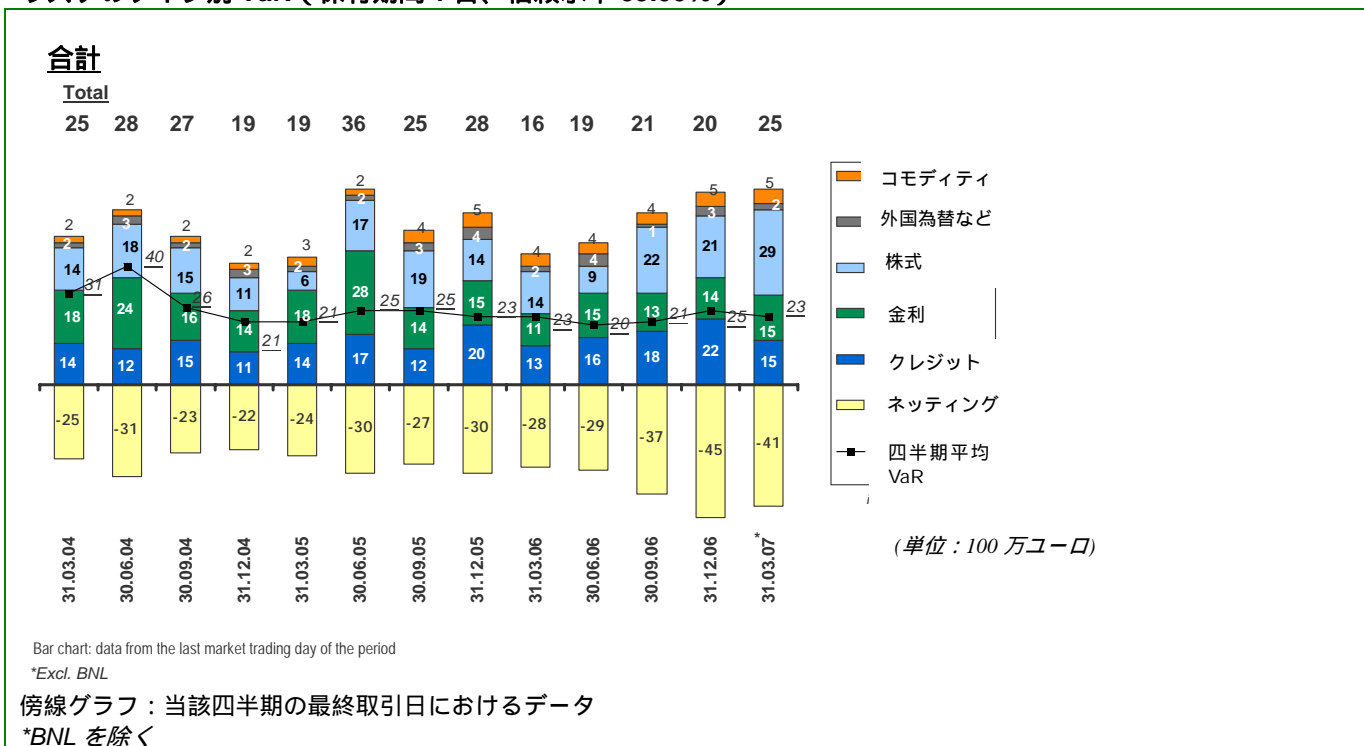
1Q07 Revenues



■ フィクスト・インカ ■ 株式

- 極めて好調な営業収益：前年同期比 3.0%増、2006 年第 4 四半期比で 32.7%増の 16 億 7200 万ユーロ
 - 株式、債券、商品、新興諸国の各市場でボラティリティがより高まる中、非常に高水準の対顧客取引を維持
 - フィクスト・インカム：米サブプライム問題にもかかわらず、クレジット・マーケットが好調なパフォーマンスを達成
 - エクイティ・デリバティブも優れた運用成績
- 税引前利益は過去最高を更新
- 割当資本は前年同期の BNL 買収による影響を除いた場合で同 15.8%増
 - VaR は依然として低水準
 - オフ・バランスシート取引（デリバティブ、レポ）の残高が急増

リスクのタイプ別 VaR (保有期間 1 日、信頼水準 99.00%)



ファイナンス業務

(単位: 百万ユーロ)	1Q07	1Q06	1Q07/ 1Q06	4Q06	1Q07/ 4Q06
営業収益	724	659	+9.9%	728	-0.5%
営業費用および減価償却費	-290	-270	+7.4%	-305	-4.9%
営業総利益	434	389	+11.6%	423	+2.6%
引当金	56	18	n.s.	50	+12.0%
営業利益	490	407	+20.4%	473	+3.6%
営業権償却	0	0	n.s.	-13	n.s.
税引前利益	490	407	+20.4%	460	+6.5%
コスト/インカム率	40.1%	41.0%	-0.9 pt	41.9%	-1.8 pt
割当株主資本 (10 億ユーロ)	6.8	6.1	+10.9%		

- 営業収益: 前年同期比 9.9% 増
 - LBO および M&A ファイナンスの手数料収入が高水準
 - エネルギー / 輸送業界におけるストラクチャード取引の増加を受け、原油価格反落による影響は限定的
- リスク費用は再び純繰戻しとなり、増益要因に
 - 新規繰入れのニーズは引き続き限定的
 - 米国向け引当金は繰戻し
- リスク加重資産は前年同期比 2.7% 減 (BNL 買収による影響を除く)
 - CDS プロテクションの買いを除外した場合は、同 5.2% 増

CIB : グローバル・フランチャイズを有する欧州トップクラスの実績

■ 資本市場

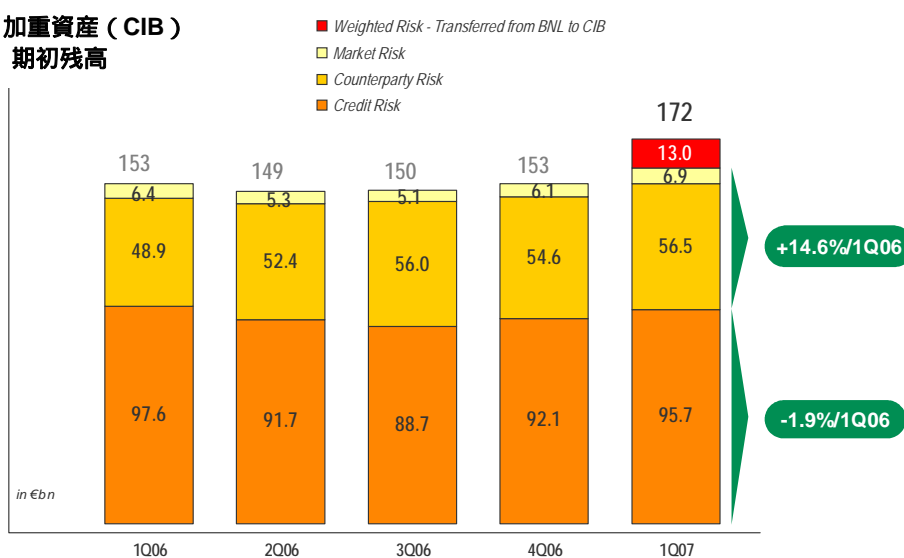
- 「ベスト・リード・マネジャー・オブ・ユーロ・シニア・コーポレート・ボンド」(ユーロウィーク誌 2007 年 1 月号)
- 「ライジング・スター・デリバティブズ・ハウス」(ザ・アセット誌 2007 年 1 月号)
- 「ABS ディール・オブ・ザ・イヤー」Vega 8 億ユーロ - 船舶抵当ローンの証券化スキーム第 1 号 (ISR 誌 2007 年 1 月号)
- 「ストラクチャー・オブ・ザ・イヤー、北米市場」(ストラクチャード・プロダクツ誌 2007 年 4 月号)

■ ファイナンス業務

- 「米国コモディティ (石油 & ガス) ファイナンスの取扱高で第 2 位のエージェント」 - 2007 年第 1 四半期 (ローン・ブライジング・コーポレーション)
- 「中東 & アフリカ向けプロジェクト・ファイナンス・ローンで第 3 位」 - 2007 年第 1 四半期 (国際調査機関 Dealogic)
- 「グローバル・トレード・ファイナンス・ローン (航空機 & 船舶ファイナンスを含む) のマネージド・アレンジャー実績で第 2 位」 - 2007 年第 1 四半期 (Dealogic)
- 「東欧向け貿易ファイナンス・ローンのマンデート獲得アレンジャー実績で第 1 位」 - 2007 年第 1 四半期 (Dealogic)



リスク加重資産 (CIB) 期初残高



BNL risk-weighted assets transferred to CIB:
€8.6bn in credit risks, €0.6bn in counterparty risks and €3.8bn in market risks

- マーケット・リスク
- カウンターパーティー・リスク - 資本市場関連
- 信用リスク ファイナンス業務
- BNL から CIB へ移管されたリスク加重資産

BNL から CIB へ移管されたリスク加重資産の内訳:
クレジット・リスク 86 億ユーロ、カウンターパーティー・リスク 6 億ユーロ、マーケット・リスク 38 億ユーロ

財務構成**強力な財務構成**

(10 億ユーロ)	2007 年 3 月 31 日	2006 年 12 月 31 日
再評価前株主資本 (グループ帰属)(a)	38.2	37.2
評価性引当金	4.9	5.0
(内 BNP パリバ・キャピタル)	2.0	2.2
自己資本比率	10.4%	10.5%
Tier I レシオ (b)	7.4%	7.4%

(a) 永久劣後債を除く、また利益分配推定額を差引後。

(b) リスク加重総資産の推定額として、それぞれ概算 4785 億ユーロ (2007 年 3 月 31 日)、同 4652 億ユーロ (2006 年 12 月 31 日現在) に基づく。

発行済み株式数

(単位: 100 万)	1Q07	2006
株式総数 (期末)	932.9	930.5
株式総数 (自己株式を除く / 期末)	900.4	905.3
平均発行済株式総数 (自己株式を除く)	904.7	893.8

一株当たり純利益 (EPS)

(単位: ユーロ)	1Q07	1Q06
一株当たり純利益 (EPS)	2.73	2.38

一株当たり純資産額

(単位: ユーロ)	2007 年 3 月 31 日	2006 年 12 月 31 日
一株当たり純資産	52.2	49.8
うち再評価前株主資本 (グループ帰属)	46.8	44.2

カバレッジ・レート

(単位: ユーロ)	2007 年 3 月 31 日	2006 年 12 月 31 日
問題債権 (実行残および約定残)	15.3	15.7
引当金	13.8	13.9
カバレッジ比率	90%	89%

(1) オフ・バランスシート、オン・バランスシートの両方を含むグロス・ベースの不良債権残高。

格付け

S&P	AA	ポジティブアウトルック	2007 年 2 月、アウトルックをポジティブに格上げ
ムーディーズ	Aa2	安定的	2007 年 2 月 21 日付で再確認
フィッチ	AA	安定的	2006 年 5 月 15 日付で再確認

四半期決算

グループ事業

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	6,817	7,245	6,829	7,052	8,213
営業費用および減価償却費	-3,862	-4,288	-4,261	-4,654	-4,586
営業総利益	2,955	2,957	2,568	2,398	3,627
引当金	-116	-121	-264	-282	-260
営業利益	2,839	2,836	2,304	2,116	3,367
関連会社損益	62	59	118	54	127
その他の営業外項目	35	-2	4	145	1
税引前利益	2,936	2,893	2,426	2,315	3,495
法人税	-806	-837	-638	-481	-854
少数株主持分	-117	-155	-113	-115	-134
グループ帰属純利益	2,013	1,901	1,675	1,719	2,507

フランス国内リテール・バンキング

(フランス国内プライベートバンキング収益の 100%を含む)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	1,504	1,499	1,439	1,408	1,526
内利ざや	866	876	847	791	829
内手数料	638	623	592	617	697
営業費用および減価償却費	-927	-940	-972	-972	-954
営業総利益	577	559	467	436	572
引当金	-31	-31	-35	-56	-31
営業利益	546	528	432	380	541
営業外損益	0	0	0	1	0
税引前利益	546	528	432	381	541
AMS 帰属収益	-35	-30	-24	-28	-41
フランス国内リテール・バン キング税引前利益	511	498	408	353	500

PEL / CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング

(フランス国内プライベートバンキング収益の 100%を含む)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	1,440	1,445	1,401	1,385	1,499
内利ざや	802	822	809	768	802
内手数料	638	623	592	617	697
営業費用および減価償却費	-927	-940	-972	-972	-954
営業総利益	513	505	429	413	545
引当金	-31	-31	-35	-56	-31
営業利益	482	474	394	357	514
営業外損益	0	0	0	1	0
税引前利益	482	474	394	358	514
AMS 帰属収益	-35	-30	-24	-28	-41
フランス国内リテール・バン キング税引前利益	447	444	370	330	473

フランス国内リテール・バンキング

(フランス国内プライベートバンキング収益の 3 分の 2 を含む)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	1,444	1,444	1,390	1,355	1,459
営業費用および減価償却費	-902	-915	-947	-947	-927
営業総利益	542	529	443	408	532
引当金	-31	-31	-35	-56	-32
営業利益	511	498	408	352	500
営業外損益	0	0	0	1	0
税引前利益	511	498	408	353	500

BNL バンカ・コメルシアーレ (100%BNL)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益		597	633	651	638
営業費用および減価償却費		-420	-437	-481	-412
営業総利益		177	196	170	226
引当金		-54	-89	-91	-81
営業利益		123	107	79	145
その他項目		-17	1	6	0
税引前利益		106	108	85	145
AMS 帰属収益		-2	-1	-1	-2
イリテール・バンキングの税引前利益		104	107	84	143

BNL バンカ・コメルシアーレ (伊プライベート・バンキングの3分の2を含む)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益		590	627	644	631
営業費用および減価償却費		-415	-432	-475	-407
営業総利益		175	195	169	224
引当金		-54	-89	-91	-81
営業利益		121	106	78	143
その他項目		-17	1	6	0
税引前利益		104	107	84	143

海外リテール・バンキングおよび金融サービス

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	1,766	1,825	1,879	1,904	1,919
営業費用および減価償却費	-996	-1,017	-1,057	-1,135	-1,098
営業総利益	770	808	822	769	821
引当金	-153	-185	-221	-163	-202
営業利益	617	623	601	606	619
関連会社損益	20	24	20	-9	19
営業外損益	38	0	4	3	1
税引前利益	675	647	625	600	639

バンクウェスト

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	577	549	531	534	511
営業費用および減価償却費	-293	-274	-270	-267	-268
営業総利益	284	275	261	267	243
引当金	-9	-12	-17	-20	-23
営業利益	275	263	244	247	220
営業外損益	0	0	0	1	0
税引前利益	275	263	244	248	220

セテレム

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	639	680	675	690	741
営業費用および減価償却費	-353	-375	-360	-430	-393
営業総利益	286	305	315	260	321
引当金	-131	-150	-138	-101	-151
営業利益	155	155	177	159	170
関連会社損益	18	19	14	1	17
その他項目	37	-1	1	-1	0
税引前利益	210	173	192	159	187

エマージング・マーケット

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	209	221	302	305	305
営業費用および減価償却費	-138	-143	-198	-204	-205
営業総利益	71	78	104	101	100
引当金	-3	-10	-51	-22	-11
営業利益	68	68	53	79	89
関連会社損益	0	3	5	-1	4
その他の営業外項目	0	0	2	2	0
税引前利益	68	71	60	80	93

UCB とエクイップメント・ソリューションズ

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	341	375	371	375	389
営業費用および減価償却費	-212	-225	-229	-234	-232
営業総利益	129	150	142	141	157
引当金	-10	-13	-15	-20	-17
営業利益	119	137	127	121	140
関連会社損益	2	2	1	-9	-2
その他の営業外項目	1	1	1	1	1
税引前利益	122	140	129	113	139

資産運用、保険および証券管理事業

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	1,039	1,126	1,085	1,159	1,267
営業費用および減価償却費	-642	-685	-707	-770	-780
営業総利益	397	441	378	389	487
引当金	7	0	-6	-5	-2
営業利益	404	441	372	384	485
関連会社損益	-1	8	-2	29	7
その他の営業外項目	-2	1	0	-3	0
税引前利益	401	450	370	410	492

富裕層向け資産運用業務 (WAM)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	520	561	536	611	653
営業費用および減価償却費	-347	-362	-364	-427	-429
営業総利益	173	199	172	184	224
引当金	2	-1	-1	-3	-1
営業利益	175	198	171	181	223
関連会社損益	-1	0	-3	13	5
その他の営業外項目	1	1	0	-4	0
税引前利益	175	199	168	190	228

保 険

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	310	323	317	326	353
営業費用および減価償却費	-140	-147	-156	-156	-159
営業総利益	170	176	161	170	194
引当金	5	1	-5	-2	-1
営業利益	175	177	156	168	193
関連会社損益	0	0	1	16	2
その他の営業外項目	-3	-1	0	1	0
税引前利益	172	184	157	185	195

証券管理

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	209	242	232	222	261
営業費用および減価償却費	-155	-176	-187	-187	-192
営業総利益	54	66	45	35	69
引当金	0	0	0	0	0
営業利益	54	66	45	35	69
営業外損益	0	1	0	0	0
税引前利益	54	67	45	35	69

コーポレートバンキング・投資銀行事業

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	2,282	1,999	1,821	1,988	2,396
営業費用および減価償却費	-1,244	-1,180	-1,018	-1,031	-1,271
営業総利益	1,038	819	803	957	1,125
引当金	18	125	87	34	56
営業利益	1,056	944	890	991	1,181
関連会社損益	1	1	1	7	6
その他の営業外項目	7	29	4	-8	4
税引前利益	1,064	974	895	990	1,191

アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	1,623	1,332	1,181	1,260	1,672
内株式会社およびアドバイザリー	761	646	503	491	814
内フィクストインカム	862	684	677	770	858
営業費用および減価償却費	-974	-898	-729	-726	-981
営業総利益	649	434	452	534	691
引当金	0	0	0	-16	0
営業利益	649	434	452	518	691
関連会社損益	1	1	1	7	6
その他の営業外項目	7	29	3	5	4
税引前利益	657	464	456	530	701

ファイナンス業務

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	659	667	640	728	724
営業費用および減価償却費	-270	-282	-289	-305	-290
営業総利益	389	385	351	423	434
引当金	18	125	87	50	56
営業利益	407	510	438	473	490
営業外損益	0	0	1	-13	0
税引前利益	407	510	439	460	490

その他の事業活動 (BNP パリバ・キャピタルを含む)

(単位：百万ユーロ)	1Q06	2Q06	3Q06	4Q06	1Q07
営業収益	286	261	27	2	541
営業費用および減価償却費*	-78	-76	-100	-296	-103
営業総利益	208	185	-73	-294	438
引当金	43	24	0	-1	1
営業利益	251	209	-73	-295	439
関連会社損益	42	25	100	26	95
その他の営業外項目	-8	-14	-6	147	-4
税引前利益	285	220	21	-122	530

*BNL の事業再構築関連費用を含む：2007 年第 1 四半期で 2300 万ユーロ、2006 年第 4 四半期で 1 億 4100 万ユーロ、2006 年第 3 四半期で 1000 万ユーロ。

目次

連結損益計算書.....	8
2007 年度第 1 四半期のコア事業の業績.....	9
国内リテール・バンキング.....	10
BNL バンカ・コメルシアーレ.....	12
海外リテール・バンキングおよび金融サービス.....	14
セテレム.....	14
バンクウエスト.....	15
エマージング・マーケット.....	16
UCB とエクイップメント・ソリューションズ.....	17
資産運用、保険および証券管理事業.....	18
資産管理.....	20
保険.....	20
証券管理.....	21
コーポレートバンキング・投資銀行事業.....	22
アドバイザーおよびキャピタル・マーケット.....	22
ファイナンス業務.....	23
財務構成.....	25
四半期決算.....	26
目次.....	30